

## 福祉への熱い思いに共感

4月22日の市民講座は、春の嵐が吹き荒れる中、行われました。講師の加藤悦子 CAPNA 常務理事が自らの福祉への関心を抱いた動機として語った子ども時代のつらい体験に心打たれました。また、それについてサラリと「でもそれが私には当たり前のことだったんです」と言われたのが印象的でした。支援している高齢者の介護現場での虐待について、公判記録や被害者・加害者の心情も交えながら詳しく解説され、私たちがいかに日ごろ報道から偏ったイメージを受け取りがちか、考えさせられました。質問も相次ぎ、高齢者、児童と分けない『虐待防止法』が求められる、という熱い思いに共感できた晩でした。

今回の市民講座は6月24日(木)です。

高橋直昭弁護士が『キャプナ弁護団の活動から見えてくるもの』というテーマで話します。弁護士が虐待防止活動に果たす役割の一端を知っていただければ幸いです。会場は、名古屋市女性会館視聴覚室。午後6時半から8時半まで。参加費は会員無料、一般500円です。

### ジャスコの黄色いレシートでCAPNAを応援してください。

イオン(株)の行う社会貢献活動の一つ「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にCAPNAも参加しています。毎月11日の「イオンデー」に発行されるジャスコの黄色いレシートを、各店に設置された専用ボックスに投函していただくと、皆様のご好意がそのレシート合計額の1%の商品となってCAPNAに寄付されます。現在(H16.6月)、CAPNAのボックスは『名西店』『守山店』『豊田店』『南陽店』『扶桑店』『ワンダーシティ店』に設置

されています。今後、さらに増える可能性もあります。お見かけの際は、どうぞご協力ください。

#### 会員の皆さまへ

いつもCAPNAを支えていただきありがとうございます。先号でご意見を募りました所、早速何通かいただきました。誠にいいものもございましたが、皆さまのご意見を今後の活動、紙面の内容に生かさせていただきます。よろしければ、引き続きお寄せください。(FAX、または封書で事務局まで)

#### <ご報告>

去る5月11日、ジャスコ『南陽店』にて活動紹介の機会をいただき、CAPNAもスタッフ2名で参加しました。各団体のボックスにゾクゾクと黄色いレシートが投函される様子に圧倒されながら、この時とばかり「キャプナ」を連呼し、投函をお願いしました。地元の団体に比べまだまだ知名度の低いCAPNAですが、児童虐待への関心から熱心に耳を傾けてくださる方もいらっしゃいました。また、来店される不特定多数の方にCAPNAの活動を知っていただく事こそが大切ではないかと、担当者の方からも大きな励ましをいただきました。

皆さま、ありがとうございました。  
(このキャンペーンに先立ち「ネパール学校建設支援募金」にも参加しました。募金合計額11,741円)

ご寄付 次の皆様からご寄付をいただきました。お礼申し上げます。

(4-5月分、順不同、敬称略)

【団体】 県立春日台養護学校職員一同、アイシン精機(株)

【個人】 向山富雄、奥野幸代、服部恵子、服部高子、平野陽子、藤井宣行、松本伊智郎、岩城正光、矢満田篤二、岡田尚子、坂本精志、近藤広伸、山本孝子、兼田智彦、山田裕子、八塩弘二、他匿名6名、

## CAPNA ニュースレター 35号 (隔月刊 19号)

2004年6月10日発行

発行 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち

編集 CAPNA事務局広報チーム

事務局 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-4-4-404 TEL052(232)2880、FAX052(232)2882

# キャプナ★ ニュースレター



名古屋栄ロータリークラブは、5月29日、東海市の児童養護施設・暁学園の子どもたちと、同学園に関わっている里親会のメンバーら計30人を瀬戸市の窯元「三陶」に招待し、陶器作りを楽しんでもらいました。CAPNAが橋渡ししたイベントで、暁学園の子どもたち、その里親になることを考えている人たちが、一緒に焼き物の魅力を体験し、交流しました。

地域の団体と連携し、私たちの情報や人のつながりを生かして、善意を有意義な形にしていけることも、重要な活動なのだと感じました。

1995年に発足したCAPNAもいよいよ来年は10周年。愛知万博の市民参加イベント「地球村」への出展も決まり、慌ただしい毎日です。

# 35

# 全国をつなごう！民間ネットの情熱と力

4月29日、滋賀県草津市に全国の虐待防止の民間組織23団体が集まり「子どもの虐待防止民間ネットワーク」（仮称）を結成しました。呼び掛けたのは、子どもの虐待防止ネットワーク・しが（CAPNES）とCAPNAの両団体。事務局もCAPNAが務めることになりました。各地域の市民団体が主体的に手を結び、虐待防止にきめ細かく取り組むことを目指しています。当日はCAPNAからも多くのメンバーが参加しました。以下、報告します。

## 民間ネット設立への歩み

専務理事 兼田 知彦

【これまでの経緯】毎年、日本子どもの虐待防止研究大会の後で、大阪の児童虐待防止協会と東京の虐待防止センターが中心になって民間団体の交流会を開いています。しかし、時間に短いのので、なかなか十分な話し合いが持たず、残念に思っていました。

全国の虐待防止民間団体が集まって、お互いのノウハウを交換し相互協力のネットワークを立ち上げられないかと考えていましたところ、昨年の京都大会の折り、愛知と滋賀の合同懇親会で、全国の民間団体の集まりをやらうとの話題になり、今年の2月ごろから準備を始めました。

全国の虐待防止民間団体は約50団体、4月29日に滋賀での会議の案内を発送し、電話で直接勧誘したり、マスコミにもPRをお願いするなどして、23団体70名以上の参加を得ることができました。

【会議の成果】当日の運営は滋賀のみなさんのがんばりで、受け付け・会場設営・昼食の準備などスムーズに行われました。

はじめに、滋賀の甲津代表よりあいさつがあり、野田正人さんを議長に選びました。

午前中は「虐待防止法改正と民間団体の役割」と「岸和田事件を考える」のテーマで話し合いを持ちました。話題提供は岩城正光（愛知）長田浩志（厚生労働省・滋賀）加藤曜子（大阪）津崎哲郎（大阪）の4名でした。

今回の会議は、各民間団体の交流に重点を置きたかったのも、昼食懇親会を設けました。参加者が予想以上に増えたので、各団体の紹介が十分できなくなってしまいました。午後の会議は、「今後の取り組みと力量の向上」で、民間団体でできること、今取り組んでいることを話し合いました。滋賀からは、遅れている教育との連携ですべての学校に虐待担当教員を置いて、その研修を今年から始めるとの報告がありました。静岡から

は身近にできることで、家庭への支援として、付き添い活動の事例が紹介されました。最後に、今回の会議の今後のあり方について話し合い、会の名称を『子どもの虐待防止民間ネットワーク』とし、事務局を子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）におくことと、メーリングリストを立ち上げてお互いの情報交換を行うこと、来年は5月に愛知で会議を開くことを決めました。



CAPNAから参加したメンバー

## 市民の視点で虐待防止を

理事長 岩城 正光

言うまでもなく児童虐待防止の取り組みは行政だけでは不可能だ。民間パワーと行政の連携で取り組んでいかないと、きめ細かい家族支援はできない。「行政にできてNPOにできないこと」、「NPOにできて行政にできないこと」を今後明確にしていく必要がある。この自覚なく「民間と行政の連携」といっても、場当たりのものでしかない。すでに10年以上前にジャスプカン（日本こどもの虐待防止学会）が立ち上がっているが、NPO中心のネットワーク立ち上げにはそれ以上の意義があると考えているゆえんである。

NPOの使命は、あくまで虐待問題に「市民の視点」でかかわるということである。福祉行政そのものが市民の視点から見直される時期にも来ている。個々の意見がNPOにかかわる多職種のメンバーの批判にさらされることによって、より現実的なものに形を変えていく。今までのCAPNAの歴史がそうであったように、いつも議論を活発に交わしながら、日々実践への元気が出てくるネットワークにしていきたい。

CAPNA初代理事長・祖父江文宏も生前このネットワーク立ち上げを夢見ていた。祖父江は言っていた。「虐待の専門家なんていない。仮に専

門家というならCAPNAこそ専門家なんだ。医師や弁護士、心理職などが虐待の専門家じゃない」

誤解を受け易い言葉であるが、彼の真意は「どの肩書のある専門家も、一市民として対等にかかわることが一番の虐待防止活動である」と言いたかったのだ。行政関係者から反発を受けることもあったが、歴史はきつと証明してくれるだろう。祖父江の市民感覚の鋭さを。

来年は、5月の1カ月間、愛知万博に出展するCAPNAのイベントの一つとして、民間ネットの会合を開きたい。今回の倍くらいのNPOが集められるようなネットワークを築きたい。

## 子どもの虐待防止民間ネットワーク参加団体

虐待防止ネットワークみやぎ(キャブネットみやぎ)	仙台市
福島虐待問題防止研究会	福島県白川郡
いばらぎ子どもの虐待防止ネットワーク“あい”	つくば市
子どもの虐待防止センター	世田谷区
子どもの虐待防止市民ネットワーク多摩	日野市
子どもの虹情報研修センター	横浜市
こども家庭支援センター(りぼん)	静岡市
子どもの虐待防止センター・しずおか	静岡市
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(CAPNA)	名古屋市
あいち子どもの虐待防止研究会	名古屋市
子どもの虐待防止ネットワーク・しが	草津市
CAPネット・しが	滋賀県
子どもの村を設立する会	大津市
淡海ネットワークセンター	大津市
きょうとCAP	京都市
日本家庭再生センター	京都市
奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」	桜井市
児童虐待防止協会	大阪市
阪神子どもの虐待防止ネットワーク・ほっと	西宮市
子どもの虐待ホットライン広島	広島市
子どもの虐待防止ネットワーク鳥取	鳥取市
子どもの虐待防止ネットワークかがわ	高松市
佐川町子ども支援ネットワーク	高知県佐川町